

(息子たちに胸を張って残せる地域に)

私たちの世代は自分が家を守らなければいけないという気持ちがある。これからは「農業をやりたいけれどできない」という状況になるのが目に見えているが、将来、使われなくなった田畑を生かしていけるようになったらと思う。30年後、息子たちに胸を張って残せる地域でありたい。

(三木を田舎の中にある都会に)

三木はものすごく田舎でもなく都会でもなく住みやすい地域。どこに行くにも交通の便がいいが、逆に考えるとどこからでも三木に来やすい。田舎の中にある都会というイメージでネスタリゾートのような最新のものを取り入れていけばいい。

(スナッグゴルフで町を元気に)

誰にでも簡単にできるスナッグゴルフを通して町を元気にすることを掲げて、小学生のジュニアゴルファーを増やす活動に取り組んでいる。30年後は健やかな子どもたちであふれる笑顔でにぎわう町になればいいなと思う。

(生活そのものが生きがいになるような地域づくり)

30年後は今より少ない労働時間で同じくらいの収入が担保される。自分の時間が増え、やりたいことや欲求を満たせる。時間の使い方がわからない人も出てくると思うが、時間を無駄に浪費する場所や物を作るのではなく、生活そのものが生きがいになるような魅力的な地域にすることが大事だ。

(三木をゴルフとアスリートのまちに)

今は生徒たちのスキー合宿がよく行われているが、それに代わるゴルフ合宿を普及させ、市内外、県内外から人を呼び込みたい。合宿地は廃校を活用し、三木にはネスタリゾートやホースランドなどの野外を中心としたレクリエーション施設も多いので合わせて活用する。廃校を活用してスポーツチームの合宿やキャンプの誘致をしたらいい。こうした取組は観光にも波及していこう。

(教育の充実が必要)

今の教師は30年後の未来を見据えて学習指導ができていいのか不安。プログラミングが苦手な先生も多いと思うが、今後AIやロボットが普及していく中で必須の項目であり、先生方はそれに気付いているだろうか。将来がこうなっていくから、今こういう教育をしている、ということ子ども達に分かりやすく伝えたいといけない。

(新しい技術に取り組む)

生産方法がどんどん変わってきている。いろんなセンサー、ソフト、ハード、新しい技術がいっぱい出てきている。大手は取り入れているが中小企業はちょっと敬遠しがち。年齢的に体力が落ちても、いろんな技術でカバーすると生産人口も少し増える。いろんな工夫で業界を豊かにしていければと思う。

(工事の現場はリモート対応が困難)

大手ゼネコンはともかく、建築工事の現場ではリモート対応はできない。単価も良くないので、若い子が入ってこない。60代でもまだまだ即戦力。夜中の3時まで仕事することも多く、余暇を楽しむ余裕がない。